

＼ え、知らないの？ ／

大人あみだ

若者が将来を決めるときに頼る、大人にPBLを知ってもらうアイデア



PBL、そもそも知られていない。

日本でも度々話題になる「探求学習」の重要性
しかし日本人の多くはPBLの中身だけでなく、言葉さえ知らない。

ターゲット

将来を考えるときに若者が頼る、大人

大人たちにPBLの正しい認知を拡大できれば、相談の時にPBLが信頼のある大人を通して若者に伝わる

イン
サイ
ト

多くの大人は

え、知らないの？が、

とても怖い。

大人が怖い、あのシーン

打ち合わせ中に知らない単語がでてきたが、自分以外は知っているようだった。話が回ってくる恐怖におびえながらとりあえず知っている顔をして、打ち合わせ後に急いで調べた。

方向性

若者が将来を考えるときに頼る**大人に**

PBLは「知っていて、当たり前のもの」

として訴求することで

大人を起点に若者がPBLを認知し、志す世の中へ

「え、知らないの？」

大人あみだ



大人なら知っていて当たり前の英語略語が、あみだくじ形式でクイズになっている

①足をとめる

START

- MTG
- ASAP
- PBL
- KPI
- PDCA

?!

ん？PBL？やべ、知らね...
これ知っとかなあかんやつなの？
(心の声)

知ってて当然の英語略語。
キミはちゃんと全部分かる？

東洋学園大学 | 100th ANNIVERSARY

「知ってて当然」と煽られ、つい足をとめてしまう。知ってて当然の選択肢の中に、（おそらく一つだけ）知らない「PBL」が。

②あみだくじ形式で問題を解く



ポイント①

あみだくじを実際にやるという

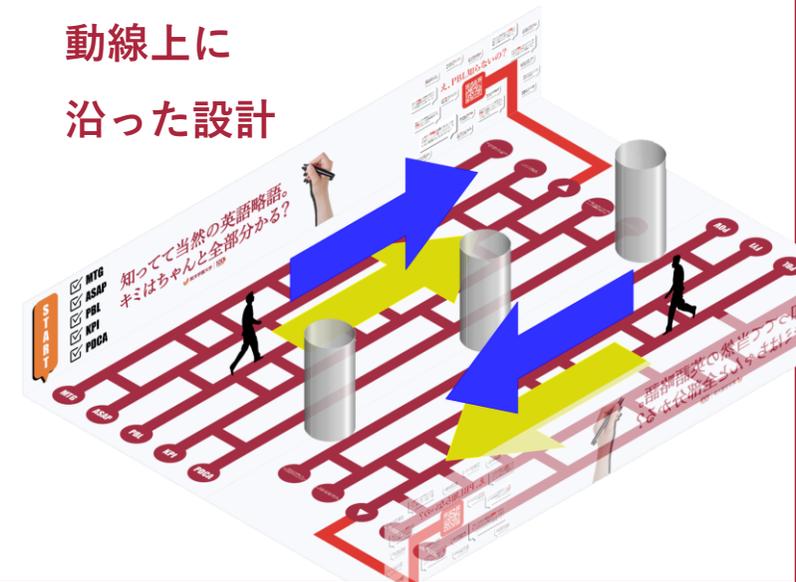
ゲーム性からくる、ワクワク感

ポイント②

駅構内ならではの

動線上に

沿った設計



知ってて当然の選択肢はあみだくじ形式の問題になっており、ついやってみたくなる仕組みに。

③PBLの答えがない



1

PBL以外の選択肢は、あみだくじをたどると解説が書いてある

PBLの回答は壁へ誘導

2

PBLが当たり前会話されている場面を提示し「PBLって一体なんだ!？」を助長。

3

メッセージで自分だけがPBLを知らない状態であると自覚させる。

「え、PBL知らないの?」

④PBLの答えを知る

QRコードを読み取ると
東洋学園大学PBLのサイトに遷移する



遷移先には、PBLの解説が書いてある。
問題をSNSにシェアしたり子供に勧めたりすることができる設計



さらなる広がり

オンラインでは...

PBL?え、知らないって
なってドキッとした笑
#大人あみだ

英語自信あったけど、まさかの
PBLで足元すくわれた笑
#大人あみだ

大人あみだ

駅にでっかいあみだくじ
あってビックリ...!
#大人あみだ

あみだくじって童心に帰る
感じがしてワクワクする。
#大人あみだ

「え、知らないの?」の恐怖への着目と、駅に
巨大なあみだくじが出現するという非日常感が、
SNS上で大きな話題を呼ぶ。

オフラインでは...



東洋学園大学PBLのサイトに遷移した状態にする
ことで、PBLを家族等に横展開しやすく。
また、「日本のPBLといえばTOGAKU PBL」とい
う印象を植え付けることができる。